



町内会への参画で 住みよいまちづくり

本会事務局には、「町内会には必ず加入しなければならぬのか?」と、お問い合わせやご相談をいただくことがあります。(町連合事務局)

「町内会の役割」について

結論から申しますと、町内会は任意での加入となっております、強制的な加入の義務はありませんし、いつでも退会することもできます。

しかし、白老町では、町内会が街路灯(防犯灯)の設置やその電気料金の支払いを行っており、平屋以外の町営住宅で構成される町内会では、入居者の負担となる階段灯などの共用部の電気料金の取りまとめや支払いも担っている場合もあるようです。

また、町内会でゴミステーションを設置している場合も多くありますので、お住まいの場所の状況をよく確認する必要があります。

◎本会の事務局や役場の生活環境課では、「町内会の入会」や「お問い合わせ」のお取り次ぎを行っておりますので、お気軽にご利用願います。

町内会では、地域の親睦や交流事業をはじめ、環境美化、防災・防犯活動の他、広報の配布や回覧などによる情報伝達、子供や高齢者などの見守り・支え合い活動などを行っており、行政に対しては、地域の要望を集約し届ける役割を担っております。

現在、町内における家族形態の特徴として、独居の方や高齢者世帯が増加傾向にあり、その様な方々にとっても、地域とつながる一番身近な存在となる町内会の役割は、今後ますます重要になると思われます。

現役世代の主体性で課題解決を

昨今、役員の高齢化や担い手不足、事業の廃止・縮小などの課題を実感されている町内会も多いと思います。

子育て世代を対象に役場が行ったアンケート調査では、「町内会の会長をはじめとする役員は、定年後の方がやるべき」と回答された方が多くいらっしゃいました。

しかし、女性の社会進出が進み、少子高齢化による人口減少社会に突入している現代では、労働力不足や年金受給年齢の引き上げなどにより、定年が延長されるなど、働く期間の延長が必要な世の中となり、町内会などの地域活動を担う人材が、なかなか供給されにくい状況となっております。

そもそも、定年後の人が担うべきというのは大きな間違いで、過去には多くの方が現役で仕事をされながら町内会の役員として運営を担われていましたし、現在でも多くの有職者の役員の方が活躍されております。

町内会の担い手不足は、子育て世代を含む現役世代の参画で解決できることなのだと考えることが出来ます。

子供たちの体験機会の創出や異世代交流の充実など、魅力ある事業の企画や新時代の組織運営を他人任せではなく主体的に取り組むことで自分や家族が暮らしていく地域社会を持続可能なものにしていきたいものです。

町連合だより

令和4年度の受賞者が決定!!

白老町町内会連合会表彰

【町内会活動功労者】(所属町内会)

- ・先崎 博樹 様 (白老末広町第1)
- ・赤田 勝美 様 (白老末広町第1)
- ・上田 悦子 様 (菟野大町5区)
- ・花谷 由満 様 (北吉原本町3区)
- ・佐藤 文男 様 (北吉原本町3区)

受賞者の皆様、おめでとうございます!

事務局からのお知らせ

白老町町内会基本調査 結果報告書の配布について

昨年8月より、実施いたしました標記のアンケート調査の結果がまとまりました。

報告書につきましては、2月25日の「町内会活動実践交流会」で資料として配布いたしました。欠席された町内会の会長の皆様には、3月中に郵送等にて送付いたしますので、町内会運営の参考資料としてご利用願います。